

白血病

- IDA + Ara-C (+ATRA) 療法 寛解導入

白血球 < 10,000 μ L のとき

1 週間 (イダルビシンを Day1~2、シタラビンを Day1~5) を 1 コースとする。APL の場合には、トレチノインの連日経口投与を併用する。

白血球 \geq 10,000 μ L のとき

1 週間 (イダルビシンを Day1~3、シタラビンを Day1~7) を 1 コースとする。トレチノインの連日経口投与を併用する。

- DNR + Ara-C 療法 寛解導入

1 週間 (ダウノルビシンを Day1~3、シタラビンを Day1~7) を 1 コースとする。

- MIT + Ara-C 療法 地固め第 1 コース

5 日間 (ミトキサントロンを Day1~3、シタラビンを Day1~5) を 1 コースとする。1 コース投与する。

- DNR + Ara-C 療法 地固め第 2 コース

5 日間 (ダウノルビシン Da を y1~3、シタラビンを Day1~5) を 1 コースとする。1 コース投与する。

- DNR + VP-16 + Ara-C 療法 地固め第 2 コース

5 日間 (ダウノルビシン Da を y1~3、シタラビン、エトポシドを Day1~5) を 1 コースとする。1 コース投与する。

- ACR + Ara-C 療法 地固め第 3 コース

5 日間 (アクリルビシンを Day1~5、シタラビンを Day1~5) を 1 コースとする。1 コース投与する。

- IDA + Ara-C 療法 地固め第 3 コース

5 日間 (イダルビシンを Day1~3、シタラビンを Day1~5) を 1 コースとする。1 コース投与する。

- A-triple V 療法 地固め第 4 コース

10 日間 (エトポシドを Day1~5、シタラビンを Day1~5、ビンクリスチンを Day8、ビン

デシンを Day10) を 1 コースとする。1 コース投与する。

- HD-Ara-C療法 地固め療法

1 週間 (シタラビンを Day1~5) 投与を 1 コースとし、投与を繰り返す。

- CAG療法

2 週間 (シタラビンの 1 日 2 回皮下注を Day1~14、アクリルビシンを Day1~4、フィルグ
ラスチムの 1 日 1 回皮下注を Day1~14) 投与を 1 コースとする。

- Hyper-CVAD療法

3 週間 (シクロホスファミドを Day1~3、ビンクリスチンを Day4, 11、ドキソルビシンを
Day4、デキサメタゾン を Day1~4, Day11~14) 投与を 1 コースとし、投与を繰り返す。

- HD-MTX + HD-Ara-C療法

3 週間 (メトトレキサートを Day1~2、シタラビンを Day2~3、mPSL を Day1~3、ホ
リナートカルシウムを Day3~4) 投与を 1 コースとし、投与を繰り返す。

髄注

- MTX + Ara-C + PSL 髄注療法

髄注療法 (メトトレキサート、シタラビン、プレドニゾロン) を行う。

骨髄異形成症候群

- アザシチジン単独療法

1 週間 (アザシチジン (皮下または静注) を Day1~7) 投与し、3 週間休薬する。これ (4
週間) を 1 コースとして最低 6 コース投与を繰り返す。